

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正巳  
新潟県山岳協会  
上越市南城町2-3-37  
TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男  
上越市柿崎区百木1023  
TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集  
委員会代表 諏訪恵一  
TEL 0258-35-4373

## 遭難対策委員会 「救急法講習会」報告

遭難対策委員 新保雅稔(高体連)

去る3月5日(土)、新潟市東総合スポーツセンターに於いて新潟県山岳協会遭難対策委員会主催の救急法講習会が開催された。翌日6日には長岡市を会場として同講習会を開催予定であったが参加者不足により残念ながら中止となった。

珍しく積雪のある一面銀世界となった新潟会場には新潟下越地区を中心とした山岳会から50名近い参加者が集まった。日赤新潟県支部救急法指導員の本間道治講師を招き、応急処置の心構えと三角巾の基本的な扱い方、心肺蘇生法の基本など、実技を交えての講習会となった。

開会式にあたり榎井利幸遭難対策委員長、阿部信一県山岳協会副会長からは、短時間の講習会だが学ぶべきものはしつ

かりと学び、これに満足せず何度も繰り返し、他人に指導できるくらいまで技量を高めたい旨の挨拶があった。午前中は、主として救急法とは何かを本間講師の経験を中心に説明が行われた。救急法の範囲、救助者が守るべき事、周囲の状況観察、傷病者の観

察などの知識、心肺蘇生法の意義とその手順について講義が続いた。さらに三角巾のたみ方や携行の仕方など基本的な取り扱いについて実技が行われた。初めて三角巾を取り扱う方は苦労されていたようだ。昼食時間も時間を惜しんで三角巾の取り扱い練習に励んでいる方が多数見受けられた。

午後は、心肺蘇生法の実技。本間講師の実演の後、四人一組でレサシアンに向かう。実技を繰り返しお互い手順の誤りを指摘し合いながら、最終的には全員がマニュアル通りの手順をこなすことができたようだ。手順の中で「脈の確

認」が「循環のサインの確認」に変更になっているので、これまで講習を受けた人は手順の再確認が必要である。受講者からは「呼吸中の酸素濃度は？」「胃に空気が入ったら？」など盛んに質問が飛んでいた。その後、三角巾を用いて、足首の固定、頭頂部からの出血、膝からの出血、腕の吊り方、下腿骨折の場合の固定法などを実践した。

救急法終了後、短時間ではあったが体育館の階段を利用して吊り上げの際の簡単なロープワーク、ザックやテントポールなどを用いた傷病者の搬送について紹介した。阿部副会長から、ロープワークの際、シュリンゲはいろいろなサイズ(太さや長さ)のものがあると便利だからいろいろ試したりうえて持参してみても、とのアドバイスがあった。

参加者の皆さんお疲れ様でした。遭難対策委員会では次年度も救急法講習会を予定していますが、できるだけ山岳活動に即したものにしたいと考えています。内容について要望がありますら、委員会までご連絡願います。



心肺蘇生法の実技

平成16年度

競技部ブロック別研修会  
(旧地区別審判員研修会) 報告

期日 平成17年2月26日(土)  
27日(日)  
会場 富山県南砺市立野原東  
1767「桜ヶ池自由の森」  
富山県南砺市立野原東15  
14「桜ヶ池クライミング  
センター」

受研者 運営研修  
新潟県 渡邊正之、森庄一、  
稲田春男、今井浩二、高橋欣弘  
長野県1名、石川県3名、福  
井県1名、富山県16名

認定研修  
新潟県 井春文、太田佳宏  
石川県 1名 富山県 2名  
講師 国体委員会副委員長  
高山雅夫  
国体委員会常任委員  
松田龍彦

日程 26日 13:25 オリエ  
ンテーション  
13:40 ①認定・運営合同研修  
17:30 入浴・懇親会  
27日 7:00 朝食  
8:00 ②認定研修(本読み)・  
③運営研修(実技)

10:30 ④認定・運営合同研修  
11:30 終了  
12:00 解散

内容 ①-2 第59回埼玉国  
体の開催結果について  
競技結果全般・運営・縦走競  
技・クライミング競技・その  
他に分け評価・反省が行われ  
た

①-2 ボルダリング競技規  
則No.10案について、たつき台  
としての案を説明し、北信越  
ブロックの意見を求められ、  
それぞれ感じたことを述べた。  
(採点・順位決定方法等)  
また、日本体育協会の正式  
承認を受けるための文書申請  
は手続き済みで、3月4日の  
日体協国体委員会での承認を  
予定しており、関連する競技  
規則・施設基準等は5月に日  
本山岳協会国体常任委員会と  
して決定する予定である。

①-3 国体山岳の岡山・兵  
庫からの変更点の説明があっ  
た。  
①-4 クライミングを1ルー  
トで競技する場合の採点法を  
確認した。

② 競技規則集を読み合わせ  
研修。  
③ クライミングセンターの

ウォールで審判としてのチェッ  
ク方法等を実技を見ながら研  
修した。また、ボルダリング  
の審判作業を実施した。  
④-1 ボルダリングの監督  
の同席・選手間の対話に関す  
る意見を再度求められた。  
④-2 受研者は全員審判資  
格を取得・更新することが確  
認された。  
④-3 国体(ブロック大会

以上)等の参加には選手登録  
手続き(手数料必要)が必要  
となる。  
④-4 国体選手交代は団体  
競技として人数の制限はない  
と日体協から通知があった。  
国体委員会総会で再度説明を  
行う。  
内容の詳細については参加  
した受研者にお聞きください。

(本間一人委員長)  
5月と10月に自然保護研修  
会を実施した。新潟県では、  
112名の自然保護委員が登録さ  
れているが、それらの方々の  
研修会参加を促進していきた  
い。また、最近問題となっ  
ている山のトイレ改善問題に取  
り組んでいきたい。  
○中高原登山委員会  
(山田弘二委員長)  
9/11/12に、42名の参加  
を得て中高原登山教室を佐渡  
で実施した。17年度は9/10  
/11に長野県岩菅山で登山教  
室を計画している。  
○国体委員会  
(森庄一委員長)  
11/13/14上越市で北信越  
5県連絡会議。1/15県体協  
新年会3名出席。2/26/27  
富山県桜が池クライミングセ  
ンターで北信越競技部ブロッ  
ク研修会予定。17年度は5月  
下旬に富山県で北信越5県代  
表者会議。6/4/5関川村  
で国体新潟県予選会。7/30  
/31富山県医王山で北信越国  
体。10月に岡山国体。11月に  
福井県で北信越5県連絡会議。  
18年2月に長野県で審判員研  
修会。21年の二巡目新潟国体  
の準備作業に入っている。  
○海外登山委員会  
(小林重一委員長)  
チャジャジマ峰報告書をま  
もなく完成させる。2/19/

平成16年度

第三回理事会 (概要)

平成17年1月22日(土)  
ホテルセンチュリーイカヤ

会。10/29/30に上越地区で  
親睦登山を計画する見込み。  
○指導技術委員会  
(嶋原副委員長)  
2/19/20に上越地区「青  
田難波山」で冬山講習会を実  
施予定。集合は上越市下馬場  
多目的研修センターで、来週  
中に要綱を発送見込み。

橋本正巳会長の挨拶に引き  
続き、議事に入る。  
議題1 専門委員会後期事業  
報告及び平成17年度事業計画  
(概要)  
○総務委員会  
(七沢恭四郎委員長)  
10/30/31親睦登山(新保  
岳)実施、27名参加。クライ  
ミングボード基金は現在まで  
124万3千円となった。賛助会  
員登録は、12名の方々からご  
協力を得た。17年度は8/26  
/28に愛媛県で全日本登山大

○遭難対策委員会  
(楡井利幸委員長)  
救急法講習会を長岡会場  
(3/6)と2月に新潟会場  
で実施したいが、新潟会場は  
調整中。本年度と同様に、中  
高原登山委員会と連携し、安  
全登山の啓蒙に取り組みたい。  
○自然保護委員会

10/30/31親睦登山(新保  
岳)実施、27名参加。クライ  
ミングボード基金は現在まで  
124万3千円となった。賛助会  
員登録は、12名の方々からご  
協力を得た。17年度は8/26  
/28に愛媛県で全日本登山大

○自然保護委員会

○海外登山委員会  
(小林重一委員長)  
チャジャジマ峰報告書をま  
もなく完成させる。2/19/

20に第43回日山協海外登山研究会参加予定。中国・青海省の山々をターゲットとして調査研究を進めて行きたい。

○婦人委員会

(山田智子委員長)

10/24に銀山平から『銀の道』登山を計画して同所に入っていたが、『新潟県中越地震』に直撃され中止とした。17年度6月か、10月に同所を再計画したい。

○ジュニア委員会

(渡辺正之委員長)

4月下旬にジュニアクライミング大会、8月にJOCクライミング大会が富山県桜が池会場で実施されたが、17年度も同様な計画を実行していきたい。

○会報編集委員会

(北村副委員長)

県山協ニュースが203号・11月で止まっていたが、204号を来週中に発行予定。2月中に205号・206号を発行できるように努力している。17年度には遅れを取り戻したい。

議題2 64国体準備室の動向

(渡辺正之競技部長)

64国体準備室の現況報告をいたします。ご意見を賜りたい。

各競技団体に「強化総括責任者」を置くことになっており、自分が責任者としてこれ

まで活動してきた。先般の表題設置会合には、ポルダリング大会に出かけていたので欠席だったが、いきさつ上お引き受けした。今後は岡山、そして兵庫、秋田、大分、5年後に新潟が国体開催会場となる。縦走競技は3年後の秋田大会で終了となり、大分よりクライミングのみである。これにポルダリング競技がありそうだが、(日山協は実施したいが日体協は未承認)現在は確定していない。埼玉国体の結果は、配布物のごくで参照願いたい。今後の課題として、成年男子は、クライミング選手中心に養成したい。成年女子は、3名に参加してもらおうのが精一杯な状況。少年男女チームは、岡山、兵庫あたりまで縦走中心に選手養成をしたい。クライミング教室を実施しているが年齢が若くてもうま行くきにくい。特に少年女子チームは、十日町高校に依存しているが、北信越大会は突破できそう。選手強化行動の面で人手が不足しているの、応援を願いたい。

(渡辺)

はフル活動中である。特段の協力を願いたい。(遠藤副会長)糸魚川・柿崎・新潟・三条・十日町ではジュニア教室が活動中。64国体では、小5〜中1が少年選手として該当するので、よろしく!(渡辺)

議題3 その他

・一新にいがた花の山旅」の作業状況

新潟日報事業社より、『年明け早々には初稿ゲラが:]とのメールをいただいた。現在までに届いていない。

(片桐理事長)

・協会加盟団体・会員の新任所

新年度には、市町村合併による住所変更が出てくると思われるので、早めに協会宛連絡願いたい。後日、加盟団体にも連絡文書を送付する。

(片桐理事長)

・中国・ガンシカ峰登頂の報告

9/26〜10/10 長野県中野山登山団体連絡協議会による長野野郎ガンシカ峰・トレッキング隊(新潟県山岳協会後援)に参加した後藤理事が、10/3、1次アタック隊4名として選ばれ、初登頂に成功した。報告用のビデオ・報告書とも出来上がっているの、後藤理事まで問い合わせ願いたい。(後藤理事)

・新潟県中越地震への見舞金 兵庫県山岳連盟より10万円、富山県山岳連盟より1万円をいただいた。1/15に開催された日山協新年会に橋本会長、稲田事務局長が出席したが、その席でカンパが行われており、参加者による1003、168円の義援金をいただいた。前2件については、地震直前に完成したクライミングポードが地震により被害を受けたので、その修復費用に振り向けることとし、兵庫岳連・富山岳連には『新潟県中越地震』の写真集を添えて礼状を送った。後者については、日赤上越支部を通じて県当局に差し上げた。また日山協には礼状を送った。(橋本会長)

・理事会・評議員会への出席費用弁償

理事会・評議員会への出席率向上を図るため、出席された理事・評議員に一律2千円を支給したい旨提案し、意義無く了承された。(今回より即時対応することとし、年度末に集計・支出する。)(片桐理事長)

・雪掘ボランティア

新潟県中越地震の救援除雪ボランティア。配布した印刷物『雪ほりボランティアスナップ2005』を参照していただき、雪山になった岳人としてご協力願いたい。先ほ

ど、「いりやま岳友会」より申し出をいただいた。協会窓口を本間理事が引き受ける。(本間理事)

・新年度役員改選

年度末に役員改選となるが、3月に第4回理事会を予定している。2月末頃までに理事各位の意見を賜りたい。理事会までに意見調整を行いたい。(片桐理事長)

・協会個人会員制度 遭難対策の面で山岳遭難を少なくするべく、未組織の岳人も協会主催の講習会や技術指導を受けられるよう個人会員制度を立ち上げ、成果を上げたいことからルールを作成

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス  
国土交通大臣登録旅行業第553号・DATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員  
本社 新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

http://www.uks.co.jp

□長岡営業所 〒540-0004 長岡市幸町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123  
一般旅行業取扱主任者 森 博樹

□新潟営業所 〒950-0916 新潟県山形3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266  
一般旅行業取扱主任者 山本 豊

中。間に合えば、新年度から実施したい。(楡井理事)  
 ・『ピッケル展』  
 配布した企画書を参照願いたい。2005/8/31~10/16に「せきかわ歴史とみちの館」で実施するので、展示品のご協力を願いたい。詳細は平田参与まで。(平田参与)  
 ・日山協山岳スキー協議会

**加盟団体動向**

【役員異動】

○中条山の会

会長 亀山東剛

○高体連シニア山の会

会長 小林光衛

○水原山の会

会長 太田公夫

【事務局変更】

○新潟交通山岳部

〒950-1094 2

新潟市小張木3-1-17

田原正夫方

○KCC

〒949-1321 6

上越市柿崎区柿崎6306

山川昌恵方

○とろっこ山の会

〒941-0046

先般、表題の動きが日山協にあった。4/16~17に長野県で開催される見込みだが、詳細は2/20に開催される日山協評議員会で発表される。(稲田事務局長)

横山監事の終了挨拶で、理事会の全日程を終了した。報告・片桐一夫理事長

糸魚川市羽生405-10

古畑雅一方

○弥彦山岳会

〒959-0323

西蒲原郡弥彦村弥彦

3441-9

小林頼雄方

○中条山の会

〒959-1264 1

中条町若松町8-4

亀山東剛方

○高体連シニア山の会

〒950-1210 1

新潟市五十嵐一の町

6779-2

○水原山の会

〒959-1200 5

阿賀野市山口町1-2-29

太田公夫方

(届出順・敬称略)

**山岳遭難共済**

	契約基本タイプ					
	高校生	A	B	C	D	E
死亡・後遺症	150万円	180万円	200万円	300万円	400万円	1000万円
遭難捜索費用	100万円	200万円	200万円	250万円	350万円	500万円
個人賠償責任			1億円	1億円	1億円	1億円
会費	3,000円	5,500円	6,200円	8,000円	11,000円	18,000円

※上記各コースには、入院・通院の保証は付帯されません。

保険金額(1日につき)	
入院	3,300円
通院	1,000円
追加会費	4,000円

※入院保険金・通院保険金を付帯する場合は、4,000円が各コース会費に加算されます。

**特別共済**

タイプ	I型	II型
会費	3,000円	6,000円
死亡・後遺障害保険金	300万円	300万円
救援者費用保険金	300万円	300万円
個人賠償責任保険	1億円	1億円
入院保険(1日につき)	2,000円	4,000円
通院保険(1日につき)		1,700円

**海外登山共済**

死亡・後遺障害	100万円
救援者費用	500万円
個人賠償責任	1億円
追加会費	10,000円

※海外登山共済は、この保険単独では加入できません。

**登山・アウトドアの専門店**



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

**登山・ハイキング・クライミング  
テレマーク&山スキー**



**パーマーク**  
 長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
 TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164  
 ・営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>